

虹

題字：慈雲老大師（円覚寺派前管長・伝宗庵住職）

■編集・発行／神奈川県骨髄移植を考える会

〒254-0042 神奈川県平塚市明石町 24-25-309 黒部設計事務所内 発行責任者／村上忠雄

TEL:090-4713-7300 FAX:0463-25-1383 <http://www.geocities.jp/bmtkana/> E-mail:bmtnoniji@yahoo.co.jp

■日本骨髄バンク <http://www.jmdp.or.jp> ■全国骨髄バンク推進連絡協議会 <http://www.marrows.or.jp>

骨髄提供のドナーになって

私は昨年春、骨髄バンクを通じて初めて骨髄を提供しました。このたびその時の思いを書く機会をいただきましたので、振り返ってみたいと思います。（桑原 晴湖）

今から遡ること17年前、私は骨髄バンクに登録しました。献血ルームで献血するついでに軽い気持ちで登録し、それ以来小さな封筒のバンクニュースが送られて来ていただけなので、突然大きな封筒が届いた時は戸惑いながら封を開けました。

同封の適合通知を見た時は、「とうとうこの時が来たのか、まさか自分のHLAと合う人がいたとは」と驚き緊張しましたが、すぐに中のアンケートを返送しました。初めてのことで不安もありましたが、コーディネーターさんがいつも私の気持ちに寄り添って支えてくださり、大変心強かったです。

さまざまな検査などを経て無事入院までたどり着き、ほっとしたのも束の間、病棟の廊下のガラス一枚を隔てた場所が無菌病棟であることを知りました。今まさに、そこに、命を懸けて前処置を受けている患者さんたちがいるという衝撃が、微力ながらBMT神奈川でボランティアを始めた動機となりました。

適合通知から手術までのおよそ4か月、自己血採血の貧血症状など負担がなかったわけではありません。しかし、そんな負担以上のサポートを多くの方々から実感する日々でした。快く協力してくれた家族、とて

も話しやすく安心できた病院のスタッフのみなさん（特に主治医の先生！）、そして最後まで寄り添い続けてくださったコーディネーターさん。いよいよ手術の日、私は単に代表して骨髄を提供するけれども、患者さんを救うのは上記のみなさんひとりひとりの力のおかげなのだ、感謝の気持ちでいっぱいになって手術台の上で目を閉じました。

その後は特に合併症もなく日常生活に戻り、唯一の気掛かりはお相手の患者さんのことでした。ご高齢と聞いていたこともあって非常に心配でしたが、昨年末（移植後10ヶ月ほど）に患者さんご本人と奥様からお手紙を頂戴しました。そこには移植後順調に回復されてGVHDと闘う日々の暮らしのご様子と、感謝の言葉が綴られていました。また、骨髄提供しか治療がないと医師から告げられた時には目の前が真っ暗になったとも書かれており、改めて造血幹細胞移植という治療と骨髄バンクの働きの尊さを噛みしめています。

骨髄バンクに登録された患者さんがひとりでも多く救われることと、患者さんご家族の日々の暮らしが少しでもより良いものとなりますように、お祈りしています。

第 6 回患者サロン

11月26日(土)午後2時より4時半まで、桜木町駅前の横浜市社会福祉センターにて15名が参加して第6回患者サロンを行いました。今回のゲストに神奈川県立がんセンター血液内科部長の金森平和先生をお迎え、「同種造血幹細胞移植の進歩と今後」と題して40分ほどのご講演をいただきました。次回は平成29年5月28日(日)午後2時より横浜市社会福祉センターで第7回患者サロンを予定しております。どうぞ奮ってご参加ください。(高橋 真知子)



以下は、もと患者であり、今回からスタッフとして参加したメンバーからの記事です。

白血病の患者数や骨髄移植件数などの推移、また移植の現状などについて先生がお話くださった後、参加者のみなさまからのご質問にとっても詳しく丁寧に答えてくださいました。

今回は、幼少期に移植された方、移植時期からあまり年月が経っていない方、そしてご家族が移植された方…など様々な方がいらっしゃいました。そのため、体験談を話してくださることで不安が解消されたり新たな気づきがあったりと、大変有意義で楽しい時間を持つことができました。

私自身、約6年前に骨髄移植を受けましたので、とても興味深く先生やみなさまのお話をお伺いし、そしてもっと早くから参加していたら参加者のみなさまと喜びや悩みを共有できたのではないかと思います。同じ体験をした患者さんや家族の方々のお気持ちが少しでも軽くなれる、そんな癒しの場が患者サロンです。(宮本 真樹)

「神奈川県造血幹細胞移植推進協議会」 参加報告

平成28年12月21日(水)、神奈川県総合医療会館で、神奈川県造血幹細胞移植推進協議会が開催された。県のがん・疾病対策課長から、骨髄バンクの推進に対するお礼と今後活動に対する協力についての挨拶があり、担当者から骨髄バンク、さい帯血バンクの現状、神奈川県の事業の推進状況、今後の予定などの説明があった。

骨髄提供登録者は、昨年度は551名であったが、今年度は11月末で昨年を大きく上回る842名あった。これは若い層への働きかけとして大学での献血併行登録会が増えたからではないかと考えていると説明があり、引き続き議事に入った。

加藤会長から、今年から県、血液センター、BMT神奈川の三者会議にライオンズクラブを加え四者が一体となって取り組むようになった。その成果が今回の登

録者の増加に現われてきていると思う。

血液センターからは、将来の献血不足に備えて、10代~30代の若い世代の確保に努めている。献血併行型のドナー登録をより積極的に進め、若い世代の献血への参加とドナー登録を合わせて増やしていきたいと考えている。

ライオンズクラブから、これまで献血は長くやってきたが骨髄はまだ取り組み始めたばかりで、今期のガバナーは骨髄に力を入れているので長く取り組んでいきたい。又年齢的にドナー登録は出来なくても、説明員として登録を呼びかけるなど協力できることはあると思うので、会員への講習もお願いしたい。

BMT神奈川から、大学での献血併行登録会は効果的だと思うが、参加できるメンバーが固定化している状況で、ライオンズクラブをはじめ説明員を増やして態勢を確保していきたい。また、ドナーが提供しやすい環境づくりも大切で、職場や家庭に気を遣い大変な苦勞をしないといけない現実がある。ドナー登録の増加と

同時に、提供しやすい職場や社会の環境づくりも考えていきたい。その他、若い世代には移植まで繋げていくためには、いかにリテンションを行っていくかが課題。骨髄バンクがリテンション活動をもっとやっていかないといけない等、意見交換、情報交換があった。

加藤会長より、事務局から新たに献血の学生ボランティアと連携して取り組んでいくという説明があったが、是非、四者会議で具体化して進めていただきたいと発言があり終了となった。

今年度はドナー登録の大幅な増加と明るい話題があり、各委員の発言も前向きで、中身の濃い会議であった。(村上 忠雄)

横須賀みかさライオンズクラブ例会 「骨髄セミナー」について

平成 29 年 2 月 8 日に、よこすか平安閣で開催されました横須賀みかさライオンズクラブ例会「骨髄セミナー」で、骨髄バンク及び BMT 神奈川の活動、ドナー登録の現状等について話をしました。質疑応答も活発で、移植医療からドナー助成制度等の現状まで多くの質問があり、関心の高さ、よく勉強されていると感じました。



みかさライオンズクラブでは昨年、3名の方が「骨髄ドナー登録説明員」の資格を取得され、登録会に説明員として参加、活動し、更に会で説明員を増やし、将来的にはライオンズクラブ単独でドナー登録会を開催できる位にしたいと非常に積極的でした。最後にお礼の言葉と共に、心温まるご寄付をいただき感謝いたします。

(村上忠雄・岩崎眞一郎)

大磯ウインドアンサンブル チャリティーコンサート

12月23日(金・祝)、秦野市民文化ホールにて「大磯ウインドアンサンブルクリスマスチャリティーコンサート2016」が開催されました。19回目を迎えた今年は、クリスマスシーズンとは思えないうらかな汗ばむほどの日差しの日でした。

当日は開場と同時に続々入場されるお客様をお迎えしながらのPR活動を行いました。ご家族連れも多く見られ、お子さんが募金箱へ募金を運んで下さることも。たくさんの方がごく自然に協力して下さる様子にとっても暖かい気持ちになりました。

コンサートでは「真田丸のテーマ」やクリスマスメドレーなどおなじみの曲も織りませ、サンタさんが登場してのジャンケン大会では親しみやすい雰囲気にお客様だけでなく私たちも楽しませていただきました。

これまで19年もの長きにわたって続けてこられたチャリティーコンサート、関係の皆様には感謝せずにはられません。また、今年もたくさんのご寄付をいただきありがとうございました。

**骨髄バンクへの
ご支援ありがとうございます**

私達は神奈川骨髄移植を考える会と申します。県内各地で骨髄バンクのドナー登録を推進するために活動しています。

大磯ウインドアンサンブルの皆様のご厚意でクリスマスコンサートに骨髄バンクのチャリティーにしたいとお願いして18年が経ちました。おかげ様で骨髄バンクのドナー登録に役立てることができました。

ありがとうございました。

今日お越しいただいた皆様はその経緯を知っていただきたく、このお知らせを作成いたしました。

お目遣いいただければ幸いです。

当会の会報誌「虹144号」から前回コンサートの後附記事 (2016年4月1日発行)	過去5年の寄付額
このコンサートもおかげ様で18年目を迎えました。チャリティーということも定着し、毎回たくさんの方が募金して下さいました。	H23年 56,045円
	H24年 63,631円
	H25年 55,985円
	H26年 76,282円
	H27年 56,861円
合計 308,894円	

◆神奈川骨髄移植を考える会より◆

で毎年、会場へお伺いしておりますが、ロビーで旧友が再会を喜び合う光景を微笑ましく拝見しております。皆さんの笑顔はクリスマスの飾りよりもキラキラと輝いています。おかげ様でドナー登録者は46万人を超え高い割合で患者さんにドナーが見つかるようになりました。一方でドナー登録者がいる歳になり登録抹消になる方が増え、若い方のドナー登録を増やしていくことが新しい課題となっております。

守護者が大切な人を思うクリスマスにチャリティーコンサート開催をしていただき、また、鑑賞に来ていただいている本当にありがとうございます。

青木 正之 □ Merry Christmas □

感謝の気持ちをこめた BMT 神奈川からのご挨拶のチラシも配布しました。

(芳崎 栄津子)



献血ルーム・献血併行型ドナー登録会

～5年を振り返って～

平成24年10月、今後のドナー登録の推進について協議するため関係する機関・団体による打合せの開催を県に働きかけ、神奈川県保健予防課、神奈川県赤十字血液センター、BMT神奈川の三者による初めての打合せ会が持たれた。これからは三者が情報交換、連携を密にして献血、ドナー登録の推進向上を目指すことを確認し、3者協議会がスタートした。

その第一歩として、平成25年4月から血液センターと献血ルームの理解と協力を得て、横浜駅東口クロスポート及びかわさきルフロン献血ルームで、BMT神奈川会員の説明員によるドナー登録の説明・登録を開始した。また神奈川県からの緊急雇用創出基金委託事業として、平成25年9月から平成26年3月まで、「骨髄ドナー登録案内事業」、平成26年5月から27年3月まで「骨髄ドナー登録説明員育成事業」を実施し、2か年でドナー登録の説明4,178名、登録2,718名と大きな成果を上げた。

平成27年4月からはBMT神奈川会員の説明員により、第2土曜日川崎・第4土



川崎献血ルームにて

曜日横浜東口献血ルームで引き続き実施し、本年2月末現在で説明438名、登録299名となっている。

この献血ルームでの骨髄ドナー登録両事業の最大の成果は、登録者の増加及び血液センター・県・BMT神奈川の連携・協力態勢が一層深まったことである。また職員の方々と説明員との相互理解が深まり、献血者に声掛けを下さるなど、気運も盛り上がり、成果に結びついていると思う。さらに献血ルームから、献血併行型ドナー登録へと連携、協力態勢の輪が広まり、今では、献血車の配車計画の情報が随時いただけるようになった。献血、ドナー登録の共通課題である若い世代への働きかけとして、各大学での献血併行型ドナー登録会が大幅に増え、実績の向上につながっている。

このように登録会が増えることは大変嬉しいことであるが、参加説明員（特に平日）の確保が課題となる。移植を望むすべての患者さんがチャンスに恵まれますよう力を合わせて活動を進めていきましょう。

追記： 私が講師をしている看護専門学校の学生数人が、「先生の講義を聞いて来ました」と、ドナー登録と献血をしてくれました。学生仲間でチャンスの輪が広まるようプッシュしました。チョット感動ものです。

(村上 忠雄)

== 登録会報告 ==

アリオ橋本ドナー登録会



1月8日(日)、アリオ橋本にて平成29年最初の骨髄バンクドナー登録会(献血併行型)が、神奈川県主催で行われました。

当日は北風が強く、午前中より時おり雨の降るあいにくの天気でしたが、若いお父さん・お母さんと子供達が大変多く、フードコートでは、各お店の前の待ちの列

がなくなることがない位、混雑していました。

今回の登録会は、献血及びドナー登録の受付場所(1階)と、検診・採血場所(2階)とが50m以上離れた為、2階の検診・採血場所にも受付を設けました。

当日の登録は16名・説明は18名でした。

テレビの骨髄バンク登録の宣伝を見ていたので、買い物にきてドナー登録の受付を見て、すぐ登録する事にしましたという方もおられました。

(岩崎 眞一郎)

神奈川県庁ドナー登録会



強い冬型の気圧配置に覆われた1月16日、17日の二日間、外気温は3℃というこの冬一番の寒さの中神奈川県庁に於いてドナー登録会が開催されました。会場は本庁舎及び新庁舎が工事中のため新庁舎エネルギー棟の裏側でした。あまり目立たないあいにくの場所でしたが、館内放送で繰り返しPRをしていただいたお蔭か寒波にも関わらず初日は登録が12名、説明15名、二日目は登録が8名、説明17名でした。



ヘルメットを被り、腰に工具をぶら下げて作業を着た工事関係者の方々にも足を運んでいただきました。きっと少しの休憩時間を利用して来てくださったと思います。胸が熱くなりました。登録者に心から感謝申し上げます。寒さに震えた二日間でしたが心がとてもあたたまった登録会でした。

(小坂 泉)

新百合ヶ丘ドナー登録会



～川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室

三島 英男様より～

平成29年2月18日(土)小田急線百合ヶ丘駅南口において、献血併行型ドナー登録会を開催しました。当日は曇天でやや風があり、必ずしも恵まれた天候ではありませんでしたが、全国骨髄バンク推進連絡協議会作成によるハローキティ骨髄バンク啓発グッズと啓発チラシと一緒に配布する等の呼びかけを行った結果、14名の方に説明し、12名もの方に登録をいただくことができました。

今後も神奈川県赤十字血液センター及び神奈川骨髄移植を考える会の皆様にご協力いただきながら、ドナー登録会を開催して参りたいと考えております。

防衛大学校ドナー登録会



去る2月23日(木)、防衛大学校ドナー登録会に参加しました。当日は、強風・大雨で外での活動が無理と思われましたが、学校側のご配慮で屋内での活動が許され、学校の意識の高さを感じました。また、ほとんどの学生が卒業後、自衛官という人を助ける仕事に就くためか、やはり意識が高く感心致しました。挨拶もしっかりされ、チラシを渡せば受け取り、説明を聞いてくれる学生も多く、説明13名、登録も13名となりました。

以前に他開催地で参加した経験と比べても大きな違いがあり、非常に驚きました。

説明員として新人の私にとって今回はとてもやりがいがあり、今後も活動していこうと改めて思う1日となりました。
(金野 雅雄)

「ドナー助成制度の創設・実施」についてのお知らせ

ドナー助成制度が、県内初めての1市で新年度から実施されると新聞で報道されました。全国では、この2月末現在ですでに8都府県及び206市町村で実施されています。

BMT神奈川からは去る2月23日、神奈川県でのドナー助成制度の創設・実施について神奈川県知事あてに要望書、また神奈川県議会議長あてに請願書を提出しました。

神奈川骨髄移植を考える会 事務局の連絡先が変わりました

〒254-0042

神奈川県平塚市明石町24-25-309

黒部設計事務所内

TEL: 090-4713-7300 FAX 0463-25-1383

E-mail: bmtnoniji@yahoo.co.jp



◇◇ ドナー登録会 報告 ◇◇

日付	場所/主催	登録/説明
28/12/2(金)	北里大学(相模原)/神奈川県	17/24
12/10(土)	イオン相模原/神奈川県	8/12
12/12(月)	関東学院大学/神奈川県	9/11
12/22(木)	横浜市庁舎/横浜市	8/12
29/1/8(日)	アリオ橋本/神奈川県	16/18
1/12(木)	関東学院大学/神奈川県	4/6
1/12(木)	横浜市庁舎/横浜市	9/12
1/16(月)	神奈川県庁/神奈川県	12/15
1/17(火)		8/17
2/18(土)	新百合ヶ丘駅前/川崎市	12/14
2/23(木)	防衛大学校/神奈川県	13/13
2/24(金)		15/23

献血ルーム登録数集計 (H28/12~H29/2 6回)

	川崎(第2土)		横浜(第4土)	
	説明	登録	説明	登録
毎月1回				
6回合計	26	24	36	30
累計(27/5~)	194	143	244	156

日本骨髄バンクの現況 (H29年2月末現在)

骨髄バンクデータ集より	全国	神奈川県
ドナー登録者数	469,900	20,121
患者登録者数	3,524	74
移植実施数	20,427	1,128

◆◆ 活動予定 ◆◆

- 4/1(土) 円覚寺チャリティーコンサート
- 4/2(日) 相模原市民桜まつりドナー登録会
- 4/10(月)・11(火) イオン相模原イエローレシートキャンペーン(広報)
- 4/11(火) 神奈川大学(湘南ひらつか)ドナー登録会
- 4/22(土) イオン相模原ドナー登録会
- 4/27(木) 明治大学(生田)ドナー登録会
- 5/13(土) 厚木看護専門学校たまご祭(広報)
- 5/28(日) 第7回患者サロン
(横浜市社会福祉センター)

各地の献血ルームでもドナー登録ができます

窓口でお申し出ください。詳しくは日本骨髄バンクのホームページをご覧ください。なお、以下の日程で説明員による詳しい説明をしております。

- ・かわさきルフロン献血ルーム(毎月・第2土)
- ・横浜東口クロスポート(毎月・第4土)
- ・時間: 12:00 から 17:00 まで

◆ご寄付をありがとうございました◆

- 増田 明雄 様 50,000 円
- コットンキャップの会様 10,000 円
- エンゼル幼稚園様 10,000 円
- 小林 洵様 10,000 円
- 長尾 伸子様 3,000 円
- エンゼル幼稚園チャリティーバザー売上より 10,000 円
- 横須賀みかさライオンズクラブ様 10,000 円
- 白雲庵 宗雄会様 20,000 円

私たちの活動は善意のご寄付で支えられています。ご協力をお願いいたします。

+++ 寄付の振込先 +++

郵便振替口座: 00230-8-55751
加入者: 神奈川骨髄移植を考える会

◇◇ 編集後記 ◇◇

なんとなく定期的に送られてくるぐらいの認識しかなかった私が、深く考えずに「虹」の編集の仕事を引き受けてしまいました。これまではたまに登録会にてピラ配りや説明の活動をするぐらいでしたが、そこに至るまでの様々な活動があるのだということ、編集作業をしながら一読者として認識したというありさまで。遅ればせながらこれから勉強しつつ、良くしてゆきたいと思いをあらたにしています。

今号の発行日は円覚寺コンサート当日です。例年より少し早めなので、桜がちょうどよいかもしれませんね。今年もたくさんのお客様においでいただくのを楽しみにしています。(よ)